

第33回関西生殖発生毒性フォーラム案内（2）

第33回関西生殖発生毒性フォーラムを下記の要領で開催致します。今回のテーマは「発生期の脳」としました。興味ある内容になると思いますので、是非ご参加下さい。また、同施設、同企業の方にもお知らせいただければ幸いです。

日時： 2014年4月19日（土）13時～17時（受付：12時30分～）
なお、事前登録は不要ですので、会場に直接お越し下さい。

会場： 武田薬品工業(株)大阪工場 体育館2階ホール
大阪市淀川区十三本町二丁目17番85号 [Tel：06-6300-6118]
最寄駅：阪急「十三」駅下車、徒歩5分

会費： 1500円

プログラム

1. 教育講演（1）

「げっ歯類の胎生期および新生児期における中枢神経系発生とレプチンとの関わり」
宇田川 潤 先生（滋賀医科大学）

2. 教育講演（2）

「グルタミン酸受容体の過剰な活性化が脳形成および機能に及ぼす影響」
田中 光一 先生（東京医科歯科大学）

3. 一般演題

- (1) 「カニクイザルの大脳の発生」
- (2) 「ウサギの妊娠維持に対する抗菌薬と摂餌量の影響」
- (3) 「KBL ウサギの生産及び供給体制の現状」

気軽な服装でご参加下さい。なおフォーラム終了後、2時間程度の懇親会を予定しております。

